

氏名	三 島 邦 基
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1 1 9 2 号
学位授与の日付	昭和56年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	加 令 と 膵 第1編：加令に伴う膵外分泌機能の変化—Pancreozymin secretin test による年令層別生理値の設定— 第2編：加令に伴う膵管造影像の変化 第3編：機能と形態から見た膵の老化
論文審査委員	教授 長島秀夫 教授 大藤 眞 教授 中山 沃

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

加令に伴う膵の変化について臨床的に、機能面からと形態面からの両面から研究し、さらに両者の相関について研究した。

第1編では機能面から研究し、膵に異常のない60例を対象にPancreozymin secretin test を行ない、膵外分泌機能は加令とともに低下するとの結論をえた。さらにこのことを考慮してPancreozymin secretin test の年令層別生理値を設定した。第2編では形態面から研究し、内視鏡的膵胆管造影を行なった2500例の中から100例を選び検討し、主膵管径は加令とともに拡張し主膵管・分枝の蛇行・辺縁不整も加令とともに高率に現われることの結論をえた。さらにこのことを考慮して主膵管径の年令層別正常範囲を設定した。第3編では膵に異常のない117例を対象にPancreozymin secretin test, 内視鏡的膵胆管造影を行ない、加令、膵外分泌機能低下、主膵管径拡張・辺縁不整は互いに相関するとの結論をえた。

以上、膵は機能的にも形態的にも加令とともに老化し、両者は平行するとの結論をえた。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は加令に伴う膵外分泌機能の変化、膵管造影像の変化、機能や形態からみた膵の老化について詳細に検討した結果、膵は機能的にも形態的にも加令とともに老化し、変化することを明らかにした。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。